
未来絵本

茉莉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来絵本

【Nコード】

N9883Y

【作者名】

茉莉

【あらすじ】

ザワザワと煩い空港内。けれど、どこか懐かしさ感じさせる。数年前までは住んでいた場所。そして、自分が選んだ夢の舞台に、少女はもう一度立った。

夢を叶えるため自ら舞台に登った少女。そんな少女に夢を抱かせる切っ掛けを作った絵本作家。

「師匠！」「誰が師匠じゃボケ！」

しっかり者のようであまに抜けてる少女と口が悪い師匠との物語

になる予定です。

第一話 新しい生活

「やっと、帰ってこれた…」

ザワザワと煩い空港内。けれど、どこか懐かしさ漂わせている。自分が数年前まで住んでいた場所。そして自分が選んだ夢の舞台に、少女はもう一度立った。

「葵、景色は荷物片付けてからね？」

「はい」

残念そうにながらも新居の窓から離れる葵。6歳にしては聞き分けが良すぎるぐらいだが、此からの生活を考えるとこれぐらいが妥当である。

「あーちゃん」

「何？」

「僕、あとで本よんでほしい…」

「いいよ。じゃあ、急いで片付けちゃおう！」

「うん！」

「　そして、ピノは空にのぼり、ピコは白いけむりが空にきえるまで、空をみていたのです。　　って葵寝ちゃってる」

引越しの片付けを終え、葵とお風呂に入って食事をした後。待ちきれない面持ちの葵に早く、早くと急かされ、洗い物を後回しにして約束の絵本を読んで上げた。

いつから眠りに入ったのか分からない葵の頬と頭を撫で、スースーと音をたてている可愛らしい唇を少しつくと梓は音をたてないように注意しながら、寝室を後にした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9883y/>

未来絵本

2011年11月29日21時45分発行